

会長メッセージ

「組織づくり」は「人づくり」—— 「SHIP理念」の下、誠実で強い組織を育ててまいります。

シップヘルスケアグループは、およそ30年前、医療分野のコンサルタント集団としてスタートしました。コンサルタントの役割は、いわば“羅針盤”。病院の経営者や医療従事者の皆様とじっくり話をし、親身になって考え、納得感のある課題解決策を見出すのが仕事です。そのためには医療の専門知識や、業界全体の将来を見通す先見性が求められ、ひとりの想いだけでは仕事が成り立たないことを自覚し、周囲の利害関係を調整する力も必要です。しかし、医療分野のみならず人々が「より良く生きる(Well-being)」社会の実現に向けて事業領域を拡大している今、最も大切なのは、地に足をつけて学びを積み、真っ当な生き方をおろそかにしない人間力だと私は考えています。

社名に冠した「SHIP」は、Sincere(誠実な心)、Humanity(「情」の心)、Innovation(革新者の気概)、PartnerSHIP(パートナーシップ精神)の頭文字から取ったものです。これは、私が幼い時分に親から教えられた山田方谷の「至誠惻怛」の精神と、会社設立時にメンバーで持ち寄ったポリシーを咀嚼し、明文化した理念です。私たちはこの「SHIP」を共有して固く結束し、情熱とスピードをもって荒波へ漕ぎ出していきました。

人々の暮らしと豊かな自然が共生する千里の地に本社を構え、時代とともに変わりゆくニーズをとらえてノウハウを体系化しグループを拡大してきましたが、創業当時から変わらず大切にしているのは、理念の下、生命に直結する仕事であるという覚悟を忘れないことです。これこそが私たちのアイデンティティであり、組織の最大の動力源でもあります。人道倫理に則って、当たり前に行うべきことをやる。そのうえで、各人・各社が個性を発揮して自由に羽ばたいていく。私は、「守るべき理念」と「裁量を持って実践する力」の双方を備えた組織ほど強いものはないと確信しています。実際に今では地域に根差したさまざまな社会貢献活動が自発的に起こっており、使命感を持って従事する社員が増え、事業の成果につながる事例も出ています。豊かな人間性と実力を兼ね備えた肉厚な社員が育っており、とても頼もしく感じています。

「組織づくり」とはすなわち「人づくり」です。そして、「生命を守る人の環境づくり」を将来にわたり体現するため、情熱を忘れずに社員と対話を繰り返し、次の世代へつないでいくのが私の責務です。引き続き理念の浸透に努め、未来を拓く“羅針盤”たる人財を育成し、グループ一体となって持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



代表取締役会長

古川 國久